# 第38回「水の週間」関連予定行事調査票

水の週間一斉打ち水大作戦	関連行事						
行 事 名 一斉打ち水大作戦	行 事 名	夏休み親子水道施設見学会					
実施主体 =+ >1/ 4>1	実施主体	札幌市水道局					
日 程 該当なし	日 程	平成26年8月5日(火)、6日(水)					
場所	場所	豊平峡ダム、藻岩浄水場、札幌市水道記念館					
関連するHPのURL	関連するHPのURL	http://www.city.sapporo.jp/suido/c01/c01third/08_02.					
HPのリンクに必要な手続き	HPのリンクに必要な手続き	リンク時に手続きは不要です。定期的にリンクをご確認ください。					
担当部課 担 当 者	担当部課 札幌市水道局	総務部総務課 担 当 者 庶務係 川村 祐					
連絡先	連絡先	011-211-7007					
内容		内容					
	学会。 コースは、水源から家原の順に見学し、水道記念	6年生と、その保護者を対象とした水道施設の見 室に水道水が届くまでの流れに沿い、ダム、浄水場館では水道事業のガイダンスやろ過実験の体験をする総合的な学習を実施する。					

	関連行事用	関連行事					
行 事 名	きき水イベント	行 事 名	「夏休み 水の施設見学バスツアー」				
実施主体	札幌市水道局	実施主体	岩見沢市				
日 程	平成26年8月1日(金)	[26年8月1日(金) 日 程 平成26年8月7日(木)					
場所	ふれあい広場あつべつ	場所	水に関する各施設(別紙チラシのとおり)				
関連するHPのURL		関連するHPのURL	http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/i/kakuka/suidou/index.html				
HPのリンクに必要な手続き		HPのリンクに必要な手続き	手続きなし				
担当部課 札幌市水道局	品総務部総務課 担 当 者 庶務係 川村 祐	担当部課 水道部	3業務課 担 当 者 橋本 誠				
連絡先	011-211-7007	連 絡 先 0126-23-4111(内線284)					
	内 容	内容					

厚別区役所が主催する「あつべつファミリーフェスタ夏」において水道局 ブースを出展し、「水道水」、「さっぽろの水(ボトルドウォーター)」、「外国産 ミネラルウォーター」の3種を飲み比べる「きき水」イベントを実施する。 水道水はどれかを答えてもらったり、それぞれの水の味の感想を聞くアン┃施設・設備等を実際に見てもらい、普段何気なく使っている「水」について、 ケートを実施し、安全でおいしい水道水のPRを展開する。

### 【目的】

未来の岩見沢市を担う小学生を対象に、水の供給や下水処理に関する あらためて学んでもらう機会をつくるものです。

## 【対象】

岩見沢市内小学4年生~6年生

# 【募集人員】

先着40名(保護者1名まで同伴可)

#### 【参加料】

無料

# 【申込締切】

平成26年7月25日(金)

※詳細については、別紙チラシのとおり。

関連行事			関連行事									
行事	・名 「水辺で遊ぼう」			行事名 IP告知端末によるPR			ここと るPR					
実施主体 とままえGENKi'ds実行委員会		実施主体			利尻町							
日	程	8月2日			日	程	7月31日~8月7日					
場	所	古丹別川水辺の楽校			場	所	全町					
関連するHPのURL				関連する⊦	HPのURL							
HPのリンクに必要な手続き		HPのリンクに必要な手続き										
担当部課	社会	<b>教育課</b>	担当者	助石	静治	担当部課	総矛	<b></b> 旁課	担	当	者	木村祐城
連糸	各 先		0164-6	5-4076		連 絡 先 0163-84-2345						
内容				内容								

#### ○趣旨・目的

東日本大震災での福島原発の影響を受け、野外での活動に制限がかかっている子供達に夏休みをのびのびと過ごしてもらおうと平成23年度より北海道、神奈川、長野などの各県で実施している事業に賛同し、本町でも福島県の子供達を2泊3日受け入れ、苫前町の子供と一緒に町内での体験や交流を通じて、明るい未来を想像出来るその一助となるよう事業を計画、実施することを目的とするものであります。活動プログラムに古丹別水辺の楽校をフィールドとした各種の水辺体験アクティビティを予定しています。

〇アクティビティ

・イカダづくり

自分たちでイカダを作って、ビオトープ池に進水

・その他、水辺体験活動を実施。

◎町内全戸に設置されたIP告知端末及び屋外スピーカーにより毎日行政 等の連絡をしているが、これを活用し「水の週間」のPRを行う。